

目には燃える炎

2008年8月24日 アシェル・イントレーター

黙示録に、イエシュア(イエス)が持つ「目には燃える炎」について述べている所が3箇所あります。

この力、神の「パイロス」は、モーセの前に現れた燃える柴(出エジプト 3 章)、紅海で現れた炎の柱(出エジプト 14 章)、そしてシナイ山に現れた炎(出エジプト 19 章)、幕屋の祭壇の炎(レビ 9、10 章)、カルメル山でエリヤの前に現れた火(1列王記 19 章)、エゼキエルの前で現れた栄光の雲(エゼキエル 1 章)、そして神の御座から流れ出る火の川(ダニエル7章)として現れた同じ霊的な炎です。

この天の炎はまた使徒 2 章でペンテコステ(シャヴオット)の日に初期の弟子たちに降り注いだものです。この炎は誕生日のロウソクの火のように、彼らの頭上につかの間灯っただけではありません。それは彼らの中に入ったのです。もし誰かがペテロの目をのぞき込んだ場合、その人は恐らくヨハネがイエシュアの目の中に見たものと同じものを見たでしょう。

1. 情熱

黙示録のその3箇所の炎は同じものですが、目的が違いました。最初は、主が最も愛され、最良の友であったヨハネの前に、イエシュアが個人的に現れました。その炎は情熱的な愛でした。

黙示録 1:12-14

そこで私は(中略)足までたれた衣を着て、胸に金の帯を締めた、人の子のような方が見えた。その頭と髪の毛は、白い羊毛のように、また由紀のように白く、その目は、燃える炎のようであった。

イエシュアはヨハネを叱責しているわけではありません。主は歴史上最も偉大かつ預言的な黙示をヨハネに与えようとしているところです。主はダビデがヨナタンを愛したように、ヨハネを愛されました。イエシュアはこの情熱的な愛を私たち全員、主の花嫁となるすべての人々に抱いておられるのです。それはソロモンの雅歌(雅歌 8:6)にある花婿の炎です。それはヘブライ語で「シャルヘヴェット-ヤア」と言います。それは嫉妬と熱意であり、最も純粋で最も激しい愛なのです。

2. 純粋

2番目の炎はイエシュアがテアテラの教会に向かって語っておられるところにあります。主はその教会の人々を愛されていますが、主はモラルの劣化、特に性的不道德、偽の預言、そしてイゼベルの霊が彼らの教会に止める者もなく入って来させてしまったことについて厳しく非難されました。

黙示録 2:18-20

また、テアテラにある教会の御使いに書き送れ。「燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝くしんちゅうのような、神の子が言われる。(中略)しかし、あなたには非難すべきことがある。あなたは、イゼベルという女をなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて誤りに導き、不品行を行わせ(後略)。」

私たちが主の熱意で満たす炎はまた私たちを罪から清められます。明らかに、食べ物を調理する炎はまた手に火傷を負わすことができます。ペテロが死者を祈りによって復活させることを可能にした(使徒 9:40)その力は、彼の説教によって人の命を落とさせることもあるのです。(使徒 5:5、10)

3. 罰

3番目の例はさらに畏怖すべきものです。天が開きイエシュアが再臨し、神の軍隊を率いてくるのです。ここでは主は清めるためではなく、罰するために来るのです。悔い改める時間はもう残されていません。主は神の敵を滅ぼすために来られるのです。

黙示録 19:11-15

また、私は開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、「忠実また真実」と呼ばれる方であり、義をもってさばきをし、戦いをされる。その目は燃える炎であり、その頭には多くの王冠があって、(中略)天にある軍勢はまっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼に付き従った。(中略)この方はまた、万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。

最終的に、サタン、反キリストと神の御心に反する者たちすべては火の池に投げ込まれます(黙示録 19:20、20:10、20:15)。火の池を支配するのは悪魔ではありません。悪魔はそこで苦しめられるのです。地獄の炎は神の怒りの炎なのです(申命記 32:22)。炎による神の罰を知ることは、私たちに聖なる、偉大なる神に対する純粋な、清い、永遠なる畏れを私たちの中に灯します(ルカ 12:4、詩篇 19:9)。

窓と鏡

ヨハネはイエシュアの目の中に炎を見ました。目の中央には穴があり、それは瞳でカメラの絞りのようなものです。それは窓のような役割をします。炎の源はイエシュアの目ではなく、主の心です。主の魂の奥深くに炎が燃えており(ルカ 12:49)、それが私たちに灯されることを望んでおられません。

目には角膜を覆う透明なレンズがあり、鏡のような役割をします。人の目を見た時に、自分の姿が反射しているのが見えます。私たちがイエシュアの目を見る時、主の魂の炎が流れ出し、私たち

の目を通して私たちの魂に流れ込むのです。このエネルギーの転移は物理的な目は関与しませんが、霊的な目が関与します。(エペソ 1:18)

ある人々は集会から集会へと渡り歩き、神の炎を受けようとしますが、より直接的、個人的に神の炎をいつでも得られる方法があるのです。ただすべきことは、肉の目を閉じ、イエシュアの目の中にある炎について述べられているみことばを黙想し、面と向かって主の目を見ることを想像するのです。霊的な炎は主の魂から私たちへと流れ込み始めます。

目は人の顔の中央にあり、顎から頭頂までの半分の場所にあります。私たちが主の輝く御顔を黙想すると、主と同じ姿に私たちも変貌していきます(II コリント 3:18)。イエシュアの御顔にある神の栄光について黙想することによる、この霊的な変貌は大祭司の祝福「主が御顔をあなたに照らし」(民数記 6:25)を理解する鍵となります。アロンの祝祷は私たちの大祭司であられるイエシュアによって成就するのです。

毎日イエシュアの目にある炎について黙想する時間を取りましょう。情熱と純粹の、美しい霊的な炎があなたの魂に灯りますように！